

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：沖縄総合事務局建設行政課

担当課長名：村山 繼

事業名	国際センター線		事業区分	街路	事業主体	沖縄県 浦添市				
起終点	自：沖縄県浦添市字経塚 至：沖縄県那覇市首里大名町3丁目				延長	0.12km				
事業概要										
当該路線は、全体延長約1,580mの内、約1,220mが浦添南第一土地区画整理事業で現在整備中の都市計画道路である。街路事業整備区間としては、道路起点付近と終点付近の2区間であるが、今回新規事業採択区間としては、終点付近の区画整理事業区域界～県道宜野湾南風原線までの延長約120mである。										
事業の目的、必要性										
当該路線は、慢性的な交通渋滞を招いている主要地方道浦添西原線、県道宜野湾南風原線及び県道153号線における交通混雑の緩和を図り、また、新たに那覇市側と連結することにより道路ネットワーク形成の促進及び都市間の交流に大きく寄与するものである。										
全体事業費	68(11)億円		計画交通量	11,800台/日						
費用便益分析結果	B/C: 4.4	総費用 事業費：64億円 維持管理費：0.1億円	総便益 走行時間短縮便益：275億円 走行費用減少便益：10億円 交通事故減少便益：2億円	基準年 平成16年						

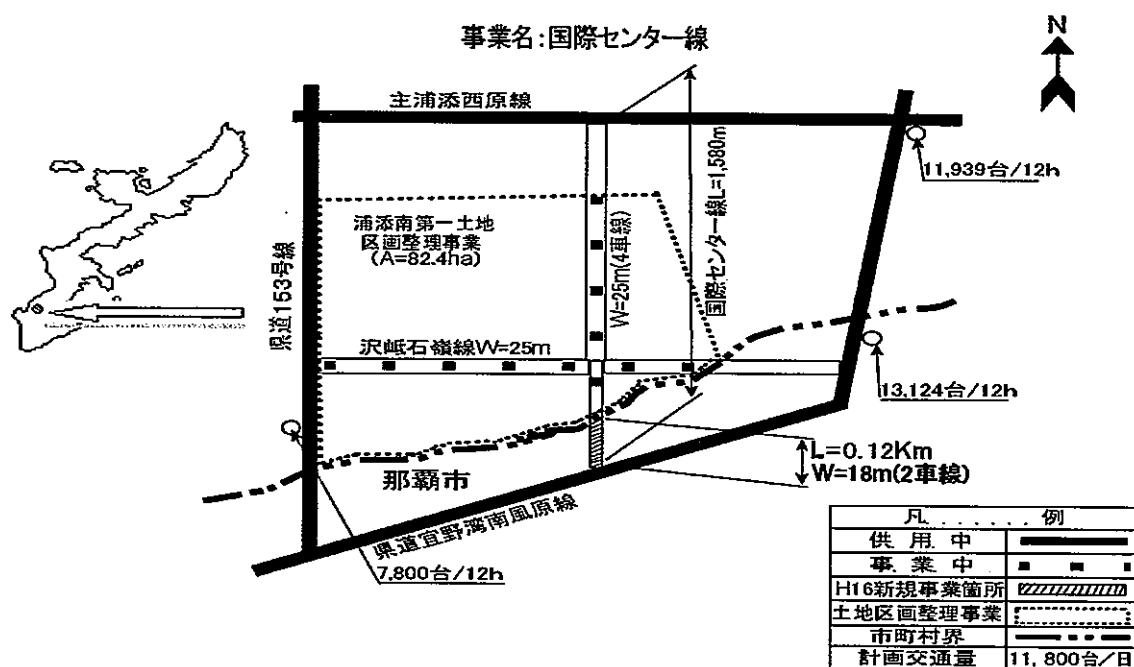
事業の効果等

- ・都市の再生（区画整理等の沿道まちづくりとの連携がある）
- ・個性ある地域の形成（拠点開発プロジェクトを支援する）
- ・他のプロジェクト（都市計画道路整備プログラムに位置づけられている）

関係する地方公共団体等の意見

国際センター線は、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待され、那覇市からの早期整備についての要望を受けている。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。